

2022年2月8日

2022年3月期 第3四半期 決算概要

連 結

(単位:億円)

	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	前年同期比
受 注 高	6,833	8,438	1,605
売 上 収 益	7,652	8,161	509
営 業 利 益	▲ 11	455	466
税引前四半期利益	▲ 72	477	550
四 半 期 利 益	▲ 76	304	381
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	▲ 101	276	377
基本的1株当たり 四 半 期 利 益	▲ 68.07円	184.36円	252.43円

※ 各項目の金額は億円未満を切り捨てて表示しています。



2022年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年2月8日

上場会社名 **株式会社 I H I** 上場取引所 東名札福
 コード番号 7013 URL <https://www.ihico.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井手 博
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 福本 保明 TEL (03) 6204-7065
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト・マスコミ向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する 四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	816,192	6.7	45,515	—	47,778	—	30,463	—	27,632	—	35,295	—
2021年3月期第3四半期	765,261	—	△1,160	—	△7,294	—	△7,652	—	△10,113	—	△5,516	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	184.36	184.34
2021年3月期第3四半期	△68.07	△68.07

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	1,820,826	354,041	330,058	18.1
2021年3月期	1,832,891	327,727	300,769	16.4

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	30.00	—		
2022年3月期（予想）				40.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,190,000	6.9	80,000	186.1	70,000	153.5	40,000	135.9	40,000	205.5	266.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2022年3月期3Q	154,679,954株	2021年3月期	154,679,954株
2022年3月期3Q	3,430,719株	2021年3月期	6,165,348株
2022年3月期3Q	149,881,918株	2021年3月期3Q	148,578,118株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明，その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しにのみを依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に与える重要な要素には、当社グループの事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載することとしています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計方針の変更)	14
(セグメント情報)	14
(重要な後発事象)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う活動制限が緩和され、生産活動、消費活動とも持ち直しの動きがみられた一方、半導体の供給不足による影響の長期化や原材料価格の高騰が回復の足かせになっています。世界経済については、ワクチンの普及や経済政策により欧米を中心に持ち直しの動きがみられましたが、新興国や途上国においては回復が遅れが見られます。また、新たな変異株の感染拡大により経済活動が制限されるなど、内外の経済には先行きが不透明な状態が続いています。

当社グループの主力事業である民間向け航空エンジンは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けており、長距離国際線では、依然として入国制限の継続の影響があります。一方、国内線及び短距離国際線の旅客需要は回復に向かっており、これに伴ってスペアパーツの販売が増加傾向にあります。

車両過給機においては、自動車業界における半導体不足や新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済活動の制限に起因したサプライチェーンの混乱による生産調整の影響により、販売台数が伸び悩んでいます。半導体不足の解消やサプライチェーンが正常化し、自動車会社の生産が正常化するのとは来年度になると見込まれます。

このような事業環境下において、当社グループの当第3四半期連結累計期間の受注高は前年同期比23.5%増の8,438億円となり、売上収益についても、6.7%増の8,161億円となりました。

損益面では、すべての利益段階で黒字に転じています。営業損益は、原子力、熱・表面処理の増収、民間向け航空エンジンにおけるスペアパーツの販売増加に加え、有形固定資産等の売却などにより、466億円増益の455億円の利益となりました。税引前四半期損益は為替差損益が好転したことなどにより増益幅が拡大し、550億円増益の477億円、親会社の所有者に帰属する四半期損益は、377億円増益の276億円の利益です。

当第3四半期連結累計期間の報告セグメント別の状況は以下のとおりです。

(単位：億円)

報告セグメント	受注高			前第3四半期 連結累計期間 (2020.4～2020.12)		当第3四半期 連結累計期間 (2021.4～2021.12)		前年同期比 増減率 (%)	
	前第3 四半期 連結 累計期間	当第3 四半期 連結 累計期間	前年 同期比 増減率 (%)	売上収益	営業損益	売上収益	営業損益	売上収益	営業損益
資源・ エネルギー・ 環境	1,543	2,707	75.5	2,241	112	2,427	122	8.3	9.1
社会基盤・海洋	989	1,196	20.9	1,039	101	1,117	52	7.6	△49.0
産業システム・ 汎用機械	2,531	2,727	7.8	2,717	56	2,719	95	0.1	69.6
航空・宇宙・防衛	1,655	1,703	2.9	1,611	△298	1,780	△55	10.5	—
報告セグメント 計	6,719	8,334	24.0	7,609	△27	8,045	214	5.7	—
その他	492	390	△20.7	344	18	424	38	23.4	112.3
調整額	△378	△286	—	△300	△1	△308	202	—	—
合計	6,833	8,438	23.5	7,652	△11	8,161	455	6.7	—

(注) 金額は単位未満を切捨て表示し、比率は四捨五入表示しています。

(2) 財政状態に関する説明

＜資産、負債及び資本の状況＞

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1兆8,208億円となり、前連結会計年度末と比較して120億円減少しました。これは、契約資産で425億円、棚卸資産で416億円増加した一方、営業債権及びその他の債権で567億円、現金及び現金同等物で379億円減少したことによるものです。

負債は1兆4,667億円となり、前連結会計年度末と比較して383億円減少しました。これは、営業債務及びその他の債務で145億円、社債及び借入金(流動)で128億円減少したことによるものです。なお、有利子負債残高はリース負債を含めて5,759億円となり、前連結会計年度末と比較して300億円減少しました。

資本は3,540億円となり、前連結会計年度末と比較して263億円増加しました。これには、親会社の所有者に帰属する四半期利益276億円が含まれています。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前連結会計年度末の16.4%から18.1%となりました。

＜キャッシュ・フローの状況＞

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して379億円減少し、827億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは42億円の黒字となりました。これは、棚卸資産及び前払金、並びに契約資産の増加があった一方で、営業債権の回収が進んだことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは15億円の黒字となりました。これは、有形固定資産の取得による支出があった一方で、主に旧愛知事業所跡地などの売却による収入があったものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは454億円の支出超過となりました。これは、コマーシャル・ペーパーの発行による収入があった一方で、借入金の返済による支出があったものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの感染拡大に対する対策を万全に期したなかで経済社会活動が継続され、世界経済の回復が期待されますが、米国の金融引き締め、欧米・中国間における政治上の確執、地政学上のリスクの顕在化など、引き続き景気の先行きについては不確実性が多く存在しています。また、世界的にサステナビリティを重視する流れが進展しており、とりわけ気候変動対策に関する各国政府・企業の取り組みが大きな注目を集めています。

これらの環境変化のスピードに対応すべく、当社グループは、収益基盤のさらなる強化とライフサイクルビジネスの拡大による成長軌道への回帰、持続可能な社会の実現に資する成長事業の創出を目的とする「プロジェクトChange」という取り組みを進めています。足許では、大型の商用石炭火力発電機におけるアンモニア混焼の実証事業や、ガスタービンにおけるアンモニア専焼技術の開発など、アンモニアの燃料利用やサプライチェーン構築に向けた活動を強化しています。

このような中で当社グループは、2021年11月に「IHIグループのESG経営」を公表し、ESGを経営の中心に据えることを改めて表明しました。人権を尊重し、多様な人材が活躍する企業風土を原動力として、事業活動を通じて気候変動問題を解決し、自然と技術が調和するサステナブルな社会の実現に取り組んでいます。

通期の連結業績予想につきましては、売上収益は産業システム・汎用機械において減収を見込みますが、資源・エネルギー・環境においてカーボンソリューションの海外案件で工事が進捗したことや原子力の工事増等により増収が見込まれることから、前回(2021年11月9日)公表値から100億円増収の1兆1,900億円となる見込みです。損益は、車両過給機が半導体不足の影響を受けますが、民間向け航空エンジンにおいてスペアパーツの販売増加や為替の円安効果によって好転する見込みです。これらにより、営業利益は100億円増益の800億円、税引前利益は100億円増益の700億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は50億円増益の400億円となる見込みです。

本業績見通しにおける第4四半期連結会計期間の為替水準については、1米ドル=105円を前提としています。

当社は、安定的に配当を実施することを基本としつつ、配当金額については、企業価値の向上のための投資と自己資本の充実・強化などを総合的に勘案した上で、連結配当性向30%程度を目安として決定することとしています。

期末配当金の予想につきましては、当期の業績予想の利益水準を鑑み、前回(2021年11月9日)公表の配当予想から10円増配の1株当たり40円とさせていただきます。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	120,766	82,783
営業債権及びその他の債権	344,535	287,811
契約資産	111,830	154,362
その他の金融資産	1,391	2,895
棚卸資産	326,470	368,155
その他の流動資産	41,668	65,795
流動資産合計	946,660	961,801
非流動資産		
有形固定資産	252,510	237,826
使用権資産	117,794	111,060
のれん	5,876	5,837
無形資産	121,265	119,806
投資不動産	144,183	139,183
持分法で会計処理されている投資	48,460	54,631
その他の金融資産	49,056	47,281
繰延税金資産	70,455	69,536
その他の非流動資産	76,632	73,865
非流動資産合計	886,231	859,025
資産合計	1,832,891	1,820,826

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	234,451	219,916
社債及び借入金	158,377	145,533
リース負債	17,630	16,763
その他の金融負債	11,742	9,052
未払法人所得税	5,125	15,839
契約負債	165,818	173,412
引当金	26,738	21,320
その他の流動負債	144,907	132,486
流動負債合計	764,788	734,321
非流動負債		
社債及び借入金	304,735	295,472
リース負債	125,193	118,147
その他の金融負債	103,428	108,773
繰延税金負債	3,132	3,171
退職給付に係る負債	180,720	183,450
引当金	6,338	7,247
その他の非流動負債	16,830	16,204
非流動負債合計	740,376	732,464
負債合計	1,505,164	1,466,785
資本		
資本金	107,165	107,165
資本剰余金	51,735	47,014
利益剰余金	148,428	170,281
自己株式	△15,953	△8,844
その他の資本の構成要素	9,394	14,442
親会社の所有者に帰属する持分合計	300,769	330,058
非支配持分	26,958	23,983
資本合計	327,727	354,041
負債及び資本合計	1,832,891	1,820,826

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上収益	765,261	816,192
売上原価	645,057	672,355
売上総利益	120,204	143,837
販売費及び一般管理費	117,835	126,609
その他の収益	4,157	34,429
その他の費用	7,686	6,142
営業利益又は営業損失(△)	△1,160	45,515
金融収益	1,447	4,778
金融費用	7,167	3,466
持分法による投資損益(△は損失)	△414	951
税引前四半期利益又は 税引前四半期損失(△)	△7,294	47,778
法人所得税費用	358	17,315
四半期利益又は四半期損失(△)	△7,652	30,463
四半期利益又は四半期損失(△)の帰属		
親会社の所有者	△10,113	27,632
非支配持分	2,461	2,831
四半期利益又は四半期損失(△)	△7,652	30,463
1株当たり四半期利益又は 1株当たり四半期損失(△)		
基本的1株当たり四半期利益又は 基本的1株当たり四半期損失(△)(円)	△68.07	184.36
希薄化後1株当たり四半期利益又は 希薄化後1株当たり四半期損失(△)(円)	△68.07	184.34

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
売上収益	283,555	299,644
売上原価	237,139	243,631
売上総利益	46,416	56,013
販売費及び一般管理費	40,812	44,383
その他の収益	567	10,907
その他の費用	1,230	3,398
営業利益	4,941	19,139
金融収益	523	2,980
金融費用	2,813	1,040
持分法による投資損益(△は損失)	△1,143	86
税引前四半期利益	1,508	21,165
法人所得税費用	1,153	7,847
四半期利益	355	13,318
四半期利益又は四半期損失(△)の帰属		
親会社の所有者	△334	12,461
非支配持分	689	857
四半期利益	355	13,318
1株当たり四半期利益又は		
1株当たり四半期損失(△)		
基本的1株当たり四半期利益又は	△2.25	82.39
基本的1株当たり四半期損失(△)(円)		
希薄化後1株当たり四半期利益又は	△2.25	82.38
希薄化後1株当たり四半期損失(△)(円)		

(要約四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益又は四半期損失 (△)	△7,652	30,463
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	1,200	△192
確定給付制度の再測定	21	△118
持分法適用会社における その他の包括利益	99	92
純損益に振り替えられることのない 項目合計	1,320	△218
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	1,500	4,539
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△67	2
持分法適用会社における その他の包括利益	△617	509
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	816	5,050
税引後その他の包括利益	2,136	4,832
四半期包括利益	△5,516	35,295
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△8,277	31,952
非支配持分	2,761	3,343
四半期包括利益	△5,516	35,295

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益	355	13,318
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	551	△186
確定給付制度の再測定	△162	—
持分法適用会社における その他の包括利益	60	△47
純損益に振り替えられることのない 項目合計	449	△233
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	741	4,101
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△35	70
持分法適用会社における その他の包括利益	△400	330
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	306	4,501
税引後その他の包括利益	755	4,268
四半期包括利益	1,110	17,586
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	207	16,346
非支配持分	903	1,240
四半期包括利益	1,110	17,586

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本の構成要素		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2020年4月1日時点の残高	107,165	51,779	136,516	△15,899	△5,067	△255	5,406
四半期利益又は四半期損失(△)			△10,113				
その他の包括利益					622	△85	1,278
四半期包括利益合計	—	—	△10,113	—	622	△85	1,278
自己株式の取得				△312			
自己株式の処分		△2		235			
配当金			△2,980				
株式報酬取引		△72					
支配継続子会社に対する持分変動							
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			50				△29
その他			△96		△21		
所有者との取引額合計	—	△74	△3,026	△77	△21	—	△29
2020年12月31日時点の残高	107,165	51,705	123,377	△15,976	△4,466	△340	6,655

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	合計
	確定給付制度の再測定	新株予約権	合計			
2020年4月1日時点の残高	—	533	617	280,178	25,862	306,040
四半期利益又は四半期損失(△)			—	△10,113	2,461	△7,652
その他の包括利益	21		1,836	1,836	300	2,136
四半期包括利益合計	21	—	1,836	△8,277	2,761	△5,516
自己株式の取得			—	△312		△312
自己株式の処分		△101	△101	132		132
配当金			—	△2,980	△3,098	△6,078
株式報酬取引			—	△72		△72
支配継続子会社に対する持分変動			—	—	52	52
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△21		△50	—		—
その他			△21	△117	△75	△192
所有者との取引額合計	△21	△101	△172	△3,349	△3,121	△6,470
2020年12月31日時点の残高	—	432	2,281	268,552	25,502	294,054

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					在外営業 活動体の 換算差額	キャッシュ ・フロー・ ヘッジ	その他の包括 利益を通じて 公正価値で 測定する 金融資産
2021年4月1日時点の残高	107,165	51,735	148,428	△15,953	1,102	△61	7,939
四半期利益又は四半期損失(△)			27,632				
その他の包括利益					4,518	19	△99
四半期包括利益合計	—	—	27,632	—	4,518	19	△99
自己株式の取得		0		△107			
自己株式の処分				123			
配当金			△4,555				
株式報酬取引		△38					
支配継続子会社に対する持分変動		△4,683		7,093			
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替			△896				778
その他			△328			△46	
所有者との取引額合計	—	△4,721	△5,779	7,109	—	△46	778
2021年12月31日時点の残高	107,165	47,014	170,281	△8,844	5,620	△88	8,618

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	合計
	確定給付制度 の再測定	新株予約権	合計			
2021年4月1日時点の残高	—	414	9,394	300,769	26,958	327,727
四半期利益又は四半期損失(△)			—	27,632	2,831	30,463
その他の包括利益	△118		4,320	4,320	512	4,832
四半期包括利益合計	△118	—	4,320	31,952	3,343	35,295
自己株式の取得			—	△107		△107
自己株式の処分		△122	△122	1		1
配当金			—	△4,555	△3,966	△8,521
株式報酬取引			—	△38		△38
支配継続子会社に対する持分変動			—	2,410	△2,348	62
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	118		896	—		—
その他			△46	△374	△4	△378
所有者との取引額合計	118	△122	728	△2,663	△6,318	△8,981
2021年12月31日時点の残高	—	292	14,442	330,058	23,983	354,041

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益又は 税引前四半期損失 (△)	△7,294	47,778
減価償却費, 償却費及び減損損失	60,251	55,298
金融収益及び金融費用	1,603	1,364
持分法による投資損益 (△は益)	414	△951
有形固定資産, 無形資産及び 投資不動産売却損益 (△は益)	△1,673	△31,237
営業債権の増減額 (△は増加)	41,763	52,210
契約資産の増減額 (△は増加)	△22,896	△41,345
棚卸資産及び前払金の増減額 (△は増加)	△42,493	△43,380
営業債務の増減額 (△は減少)	△44,255	△11,656
契約負債の増減額 (△は減少)	6,566	7,024
その他	△47,426	△24,711
小計	△55,440	10,394
利息の受取額	283	274
配当金の受取額	2,105	1,301
利息の支払額	△3,640	△2,553
法人所得税の支払額	△12,262	△5,135
営業活動によるキャッシュ・フロー	△68,954	4,281
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産, 無形資産及び投資不動産 の取得による支出	△44,783	△30,508
有形固定資産, 無形資産及び投資不動産 の売却による収入	7,275	36,948
投資 (持分法で会計処理されている投資を 含む) の取得による支出	△10,732	△2,887
投資 (持分法で会計処理されている投資を 含む) の売却及び償還による収入	650	13
子会社持分の売却による収入	295	144
その他	817	△2,207
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,478	1,503

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△38,529	△70,387
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	24,000	80,000
長期借入れによる収入	114,851	10,915
長期借入金の返済による支出	△37,752	△23,737
社債の発行による収入	30,000	-
社債の償還による支出	△10,000	△20,000
リース負債の返済による支出	△14,341	△15,204
自己株式の増減額 (△は増加)	131	△5
配当金の支払額	△2,979	△4,559
非支配持分からの払込による収入	52	63
非支配持分への配当金の支払額	△3,173	△3,966
その他金融負債の増加	1,825	1,938
その他金融負債の減少	△637	△762
その他	183	229
財務活動によるキャッシュ・フロー	63,631	△45,475
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,710	1,708
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△50,091	△37,983
現金及び現金同等物の期首残高	145,738	120,766
連結除外に伴う現金及び現金同等物の 減少額	△10	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	95,637	82,783

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループが要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

なお、要約四半期連結財務諸表における法人所得税は見積年次実効税率を用いて算定しています。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行なう対象となっているものです。

当社グループは、製品・サービス別のSBUを置き、それらを統括する事業領域を配置しています。各事業領域は、各SBUの事業戦略の実行を管理・監督し、SBUの事業戦略実行に必要な経営資源の配分を行なっています。SBUは事業領域の立案するビジョン・戦略に基づき、営業・開発・設計・生産・建設・サービスなどの一貫したビジネスプロセスを有する単位とし、SBUでの利益責任を負う事業遂行組織です。

従って、当社グループは事業領域別のセグメントから構成されており、「資源・エネルギー・環境」「社会基盤・海洋」「産業システム・汎用機械」「航空・宇宙・防衛」の4事業領域を報告セグメントとしています。上記の報告セグメントの決定に際して、集約された事業セグメントはありません。

各報告セグメントに属する主な事業、製品・サービスは以下のとおりです。

報告セグメント	主な事業、製品・サービス
資源・エネルギー・環境	原動機（陸用原動機プラント、船用原動機）、カーボンソリューション、原子力（原子力機器）
社会基盤・海洋	橋梁・水門、交通システム、シールドシステム、コンクリート建材、都市開発（不動産販売・賃貸）
産業システム・汎用機械	車両過給機、パーキング、回転機械（圧縮機、分離装置、船用過給機）、熱・表面処理、運搬機械、物流・産業システム（物流システム、産業機械）
航空・宇宙・防衛	航空エンジン、ロケットシステム・宇宙利用、防衛機器システム

(2) 報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントごとの情報は以下のとおりです。なお、セグメント間の内部売上収益及び振替高は市場実勢価格に基づいています。

前第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結
	資源・ エネルギー ・環境	社会基盤 ・海洋	産業 システム・ 汎用機械	航空・ 宇宙・防衛	計				
売上収益									
外部顧客への売上収益	222,705	100,274	262,327	159,211	744,517	20,744	765,261	-	765,261
セグメント間の内部売上収益又は振替高	1,426	3,645	9,403	1,950	16,424	13,671	30,095	△30,095	-
合計	224,131	103,919	271,730	161,161	760,941	34,415	795,356	△30,095	765,261
セグメント利益又は損失(△) (注3)	11,233	10,197	5,613	△29,832	△2,789	1,821	△968	△192	△1,160

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で、検査・計測事業及び関連する機器等の製造、販売、その他サービス業等を含んでいます。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額386百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△578百万円です。
3. セグメント利益又は損失(△)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行なっています。

当第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結
	資源・ エネルギー ・環境	社会基盤 ・海洋	産業 システム・ 汎用機械	航空・ 宇宙・防衛	計				
売上収益									
外部顧客への売上収益	241,429	105,998	265,055	175,705	788,187	28,005	816,192	-	816,192
セグメント間の内部売上収益又は振替高	1,358	5,794	6,932	2,308	16,392	14,472	30,864	△30,864	-
合計	242,787	111,792	271,987	178,013	804,579	42,477	847,056	△30,864	816,192
セグメント利益又は損失（△） (注3)	12,252	5,201	9,519	△5,564	21,408	3,866	25,274	20,241	45,515

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で、検査・計測事業及び関連する機器等の製造、販売、その他サービス業等を含んでいます。
2. セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額△130百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益20,371百万円です。全社収益は、主に有形固定資産売却益及び投資不動産売却益です。
3. セグメント利益又は損失（△）は、要約四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失（△）と調整を行なっています。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。